

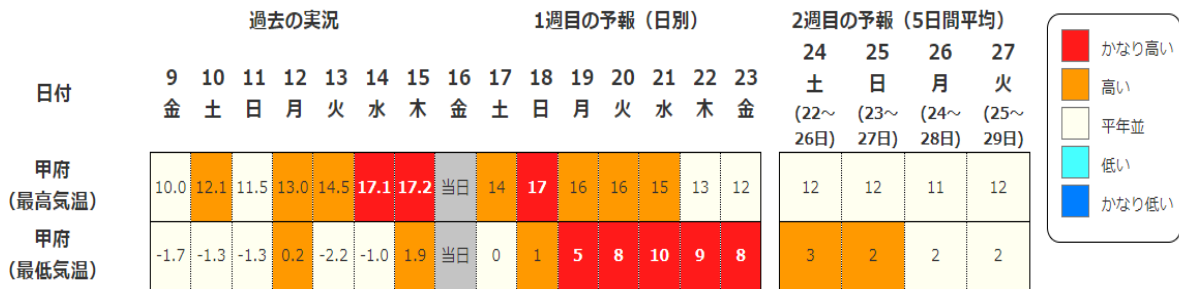
暖冬に対する農作物の技術対策について

令和6年2月16日
農業技術課

<天気概況>

甲府地方気象台の週間天気予報および2週間気温予報によると、来週以降は最高気温、最低気温ともに平年より高い～かなり高い見込みとなっています。今後の気象情報に注意し、農作物の管理を実施して下さい。

山梨県の天気予報（7日先まで）									
2024年02月16日11時 甲府地方気象台 発表									
日付	今日 16日(金)	明日 17日(土)	明後日 18日(日)	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)	
山梨県	晴時々曇 	晴後時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	
降水確率(%)	-/10/10	0/0/10	10	30	70	70	60	50	
信頼度	-	-	-	A	B	B	B	C	
甲府 気温 (℃)	最高	15	14	17 (14~18)	16 (14~18)	16 (15~20)	15 (14~19)	13 (11~19)	12 (10~18)
	最低	-	0	1 (0~5)	5 (3~7)	8 (6~11)	10 (7~12)	9 (5~12)	8 (3~11)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値									
降水量の7日間合計				最低気温		最高気温			
甲府	平年並 2 - 16mm				-0.2℃		11.5℃		



1 施設栽培

<ハウス（果樹・野菜・花き）>

- 施設内が高気温になると、養水分の競合等により生育障害の発生を助長するため、高気温が予想される場合は早めの換気を行う。
- 風が強い場合は、湿度の低下や施設の破損を防ぐため風下での換気を行う。
- 今後も気温が高い状態が続くと、害虫の発生時期が早まるので、発生状況に留意し、防除が遅れないようにする。

<トンネル（スイートコーン）>

- 生育が進み軟弱徒長に育つと凍霜害の発生が懸念されるため、発芽しているトンネルでは、極端な高気温にならないようこまめに換気を行う。

2 露地栽培

<ブドウの芽キズ処理>

- ブドウでは、気温が高い日が続くと樹液流動（水揚げ）の時期が早まるため、芽キズ処理のタイミングが遅れないように注意する。
 - ・芽キズ処理が早すぎると、処理した部分が乾燥しやすく、発芽が悪くなることもある。
 - ・水揚げ後の処理では、処理部分から樹液が流出し、芽の腐敗や凍害を受けやすくなる。
- 今週から来週まで気温が高いことが予想されるので、早場地域で樹液流動が確認できる場合は、CX-10やメリットの処理に変更して処理する。
- 発芽を揃えるため、樹液流動期～発芽期（2月下旬～4月中旬）に乾燥が続く場合は、30mm程度のかん水を行う。

（参考）

CX-10 10～15倍 メリット青 原液または2倍液	巨峰系4倍体 シャインマスカット	① CX-10は、樹勢の弱い樹では、芽枯れの恐れがあるため使用しない。 ②処理後3日程度の晴天が必要であるが、3日以内に降雨があった場合でも再処理は行わない。
目的 発芽率の向上	処理時期 2月上旬～下旬	